

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	一人ひとりを尊重した声かけはできているが、本人の状態(耳の聞こえ具合、理解力など)に合わせた声かけや対応にまだまだ力不足を感じている	一人ひとりの状態に合わせた声かけ、対応が出来るようになる	現場での指導(管理者、リーダー)疑似体験を通じての勉強会を行う	6ヶ月
2	40	より美味しく、より楽しい食事の提供。おかずは配食を基本にしているが、出来たての物をお出しする事が難しい。(ご飯と、味噌汁は出来たて)	季節に応じた料理を定期的に出せるようにしていく。	月2回実践調理の日を設ける	3ヶ月
3	44	便秘予防のため、水分摂取を意識してケアを行っているが、それでも便秘者が多く、緩下剤に頼っている部分がある。繊維質などは、配食のおかずにて、ある程度摂れている	食事の工夫、水分摂取量・運動量を増やし、自然排便を目指す	便通に効果がある物の摂取(青汁・ヨーグルト・バナナなど)嗜好に合わせた水分を提供し、摂取量を増やす。毎日の運動、体操の時間を設ける	2ヶ月
4	49	ご利用者の重度化に伴い、日常的に外出する事が難しい状況にある。ひとり一人の楽しみ場を設けつつ楽しみをもっと持っていただける工夫が必要。	リハビリユニット、生活ユニットの特色を出しつつ個別の関わりをもっとしていけるような工夫をしていく。	午後からの時間を有効に使えるように、ご利用者のリハビリや個別援助内容を週間スケジュールにしていく。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。